

水曜日の朝、第一小学校で子どもたちに読む絵本を手取る有味子さん



1つの絵本からいろいろなことを感じてもらえるように読み聞かせたい



みや た ゆ み こ
宮田 有 味 子 さん

下平沢在住

会社員。読み聞かせボランティアグループ「ぶつくわあむ」に所属。金ケ崎町立図書館設立20周年時は平谷美樹氏書き下ろしの「図書館小説」の朗読を行った。金ケ崎町図書館協議会委員を5年間務める。趣味は園芸。夫、猫と暮らす。

「今からこの本を皆さんに読みますね。という子どもたちがわくわくした目をするのが大好きなんです」と話す有味子さん。町内の幼稚園や小学校で読み聞かせを行うボランティアグループ「ぶつくわあむ」で活動をしている。

幼少期から祖父の影響で本を読むことが多く、特に絵本は、わかりやすい内容なのに考えさせられる魅力に惹きつけられた。知人に「ぶつくわあむ」を紹介され「子どもたちと楽しい時間を過ごせるように」と参加を決めた。

以前は毎週水曜日に第一小学校で定期的に開催していた読み聞かせも、コロナ禍のため月1回の開催へ変更。活動は減ったが、開催を楽しみにしている子どもたちのために、自宅や公立図書館から丁寧に絵本を選書する。遠くに座っている子どもにも伝わるように、絵がはっきりしている絵本を選び、発音よく話すことを心がける。

第一小学校で開催されている10月の読書祭りで児童からメッセージをもらうと、「子どもとちゃんと繋がっていることを確認出来て嬉しい」と有味子さん。今後もゆるく楽しく続けていきたいと笑顔で話す。

委員を務める金ケ崎町立図書館については「とても綺麗で夏場は過ごしやすいです。こういった機会に自分の気になった本を探してみたいかたがでしようか」と語る。

広報日記



6月29日に森山総合公園へ来た銀次氏と、少しの時間で話をする機会がありました。引退してもトップアスリートの迫力は健在でしたが、気さくで優しさがあふれる人という印象でした。岩手でプロ野球を観戦する機会は少ないですが、「ぜひ球場まで来て熱気を味わってください」とお話いただいたので、張り切って球場まで応援に行きたいと思っています。(千葉)

人口と世帯		6月30日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,100人	(- 17)	
男	7,754人	(- 9)	
女	7,346人	(- 8)	
世帯数	6,421世帯	(+ 1)	



町公式
facebook
情報発信中